

2022年度 日本工学院専門学校											
コンサート・イベント科 1年次											
音楽基礎 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	宮澤 由衣			実務 経験	有	職種	ピアニスト				
担当教員紹介											
ピアニストとして、TV、ラジオ、ステージ、レコーディングなどで活動しつつ、日本工学院専門学校のミュージックカレッジの講師として、音楽基礎を 10 年以上担当している											
授業概要											
これから音楽業界に携わっていく学生にとって基本となる音楽の専門的な知識を習得することに重点を置く。楽曲制作者・アーティストの意図を汲み取れるように楽譜に書かれた音符、記号、音楽用語を理解することによって音楽に対する関心を深めていく。また5線譜のノートに実際に記述することにより、譜面への抵抗をなくす。講義内ではイヤートレーニング、リズムトレーニング、曲分析、など、実際に音楽を体感できるようにする。											
到達目標											
楽器や音源の成り立ちに対し、学生たちが興味・関心を持てるようになることを到達目標とする。これにより関わっていくアーティストの楽曲を制作する上での意図を汲み取ることができ、アーティストに寄り添うことができるスタッフの育成を目指す。音楽への関わり方や好みなどは学生それぞれだが、音楽業界に携わる人にとって基本となる音楽の専門的な知識を習得することで、様々な楽曲に向き合うことができるようになる。音楽業界も変化してきていて楽譜が読めなくても仕事ができるようになってきてはいるが、ミュージシャンとのコミュニケーションをスムーズに進めるためにも、音楽の知識を広く深く持つことを目標とする。											
授業方法											
講義内容としてはノート完成予定図を示し、テーマを説明するところから入り、そのテーマに沿って説明を行っていく。教科書などは用意せず、各自ノートが教科書になるように後々見返した時に思い出して理解できるようにノートを作りあげていく。講義後に、その回のテスト問題を解くことで理解度を上げ、講義の時間内で同じ内容を何度も反復して復習することで知識を頭に入れられる環境づくりを行っていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	10%	漸極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
教科書はないので、ノートを毎回しっかりととり、後々自分で見返してわかるようにしておかないと、試験前の対策などに影響が出る可能性があります。また5線譜に書き込む際は細心の注意を払い間違えないように書き込んでほしい。また過去の講義で教えた事柄が次の講義では当たり前の共通認識として講義を展開するため、もし理解しきれていない部分があった場合はその日のうちに確認をし、わからない場合は質問をして、次の回の講義に備えてほしい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書は設定なし。講義の中で学生自身がとったノートが基本的に教科書になる形をとります。必要に応じて適宜資料を配布します。											
回数	授業計画										
第1回	講義前オリエンテーション この講義で学ぶ内容を説明し、5線紙の活用の仕方をレクチャーする										
第2回	音楽の三大要素 メロディー、ハーモニー、リズムを理解する										
第3回	音源を聞いて答えたい12のこと 何分の何拍子、Key、テンポ、Beat、ジャンル、構成、イントロの小節数、Aメロ、メロディー、コード、メロディーの最高音&最低音、歌詞、テーマ、コンセプト										
第4回	コードの読み方、度数の出し方 譜面に記載されているコードの読み方を理解し、減一完全一増、増一短一長一増を理解する										
第5回	音符の読み方、リズムトレーニング 譜面上に並ぶ音符の「ドレミ」を読めるようにする。譜面のリズムを読み取れるようにする										

2022年度 日本工学院専門学校	
コンサート・イベント科 1年次	
音楽基礎1	
第6回	音符や指示の種類と意味 タイ、スラー、四分音符、八分音符、三連符、 4分の4拍子、8分の12拍子、4分の3拍子、8分の6拍子、4分の2拍子、2分の2拍子
第7回	音に関する記号について シャープ（＃）やナチュラル（♮）等の記号を理解し、5線譜に書く練習をする
第8回	5度圏とは 各キーで基本的に使用できる音を把握する
第9回	譜面の読み方（1） G、D、A、E、B、Fメジャースケールを書いてみる、＃が付く順番、♭が付く順番、C、Cm、Cdim、Caug、Csus4、 F、G、D、E、A、B、B♭、E♭、Dm、Em、Fm、Gm、Am、Bm、C♯m、F♯mを和音で書く
第10回	譜面の読み方（2） リビート記号やダルセーニョ、コード、クレッシェンド、アクセント、フェルマータ、 フィーネ、リタルダント、アクセラ、クレッシェンド
第11回	5線譜に書く練習 音符の読み方、リズムトレーニング 休符、音階を日本語、英語、ドイツ語で書く、これまで学んだ事を5線譜に書いてみる
第12回	12KEYの曲について 音符や指示の種類と意味 C、D♭、D、E♭、E、F、F♯／G♭、G、A♭、A、B♭、B、マイナーコード、3/4&6/8の曲を理解する
第13回	その他記号について ト音記号について、ヘ音記号について、音名4か国語、鍵盤と音を一致させる、＃&♭&♮に関して、＃&♭が付く順番、 休符&連符の話、異名同音、音程、音階、コードの話、復習
第14回	これまで学んだ事の総復習（1） テスト方式でプリント課題を実施し、弱点を見つける
第15回	これまで学んだ事の総復習（2） 全体のまとめ、前回の講義で発見した弱点を個別対応で解決する